杉戸町今昔往来伝
～古きをたずねて杉戸を再発見～
第89回

江戸時代の村と現代②

江戸時代の村は、事実上の行政村落でした。多くの村人にとっては、自分が生活する村と、その周辺村々こそが、社会そのものだったのかもしれません。

「村社会」というと、よそ者を受け入れない閉鎖的、排他的な組織などに例えられ、悪いイメージしか持たれません。江戸時代の村にそういう面が全く無かったとまでは言いませんが、それだけを強調してしまうと、江戸時代の村の良い面、あるいは本質を見失ってしまうのではないでしょうか。確かにイメージ的には、その後の近代、すなわち明治という時代と比較すると、それ以前は封建的社会であり、現代とは全く断絶、隔絶した世界だと一般的には思われがちです。しかし、江戸時代の村と、我々が生きている現代の地域社会とは、地続きの時代と言っても、過言ではありません。逆説的に言えば、現代の地域社会の原点が、江戸時代の村なのです。その証拠の一つとして、現代まで長く続いていると考えられる多くの旧家でも、実際の歴史史料で遡れるのは、江戸時代までがほとんどです。村一番の旧家といわれる家でも、史料上どんなに遡れたとしても、戦国時代がいいところなのです。その事実は、単に史料の残存状況だけが影響しているのではないようです。

因みに現在の杉戸町域に存在した江戸時代の村は、二十数か村ありましたが、戦国時代以前の古文書が確認された旧家は一つもありません。杉戸町域の歴史が文献史料上、ある程度明らかになってくるのは、江戸時代以降です。もちろん、現代に通じる江戸時代の村々は、一度に誕生したわけではなく、村によって時代的差異もあります。杉戸町域の村でも、江戸幕府草創期から史料上で確認できる村（下野村）もあれば、その約百年後の享保期に新たに誕生した村（大島新田）もあります。いずれにしても、それら村々と同じように、一つの家が、居住する当該村で連綿と続いていくというのも、戦国期から江戸時代以降のことのようです。（つづく）

▲大島新田絵図

（社会教育課　町史・文化財担当編）

Enjoy Sports ★ スポーツ協会 Vol.5

杉戸町グラウンド・ゴルフ協会

問合せ　杉戸町スポーツ協会事務局
社会教育課　スポーツ振興担当　内線493

登録団体数・加盟人数

・登録団体数：20団体　　・加盟人数：460名

グラウンド・ゴルフのプレー方法

専用のクラブ、ボール、ホールポスト、スタートマットを使用して、ゴルフのようにボールをクラブで打ち、ホールポストにホールインするまでの打数を数えます。

グラウンド・ゴルフのココがポイント！

☑ **どこでもプレーできる**：運動場や公園、庭でも自由にコース設定可能！
☑ **準備が簡単**：スタートマットとホールポストを設置するだけでＯＫ！
☑ **プレーヤー人数制限なし**：1人でも、場所さえあれば何百人でもプレー可能！
☑ **同時プレー可能**：ボールが空中に飛ばないから安全！コース設定を工夫して安心！
☑ **審判は自分自身**：判定が難しければ、同伴プレーヤーの同意を求めましょう！
☑ **高度な技術不要**：子どもから高齢者まで楽しめるファミリースポーツ！

活動内容＆PR

長寿社会の中、多くの会員が町内の各公園及びグラウンドを利用して、生涯スポーツであるグラウンド・ゴルフを楽しみ、合わせて、会員同士の親睦を深め自分自身の健康維持に努めています。皆様も私たちと一緒に、仲間づくりと健康づくりのため、グラウンド・ゴルフを楽しみませんか。

▶杉戸町グラウンド・ゴルフ協会についての問合せ　笠井　幸司　☎（38）3445

編集・発行　杉戸町秘書広報課　〒345-8502 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地2丁目9番29号
☎0480(33)1111 FAX 0480(33)4550 ホームページアドレス http://www.town.sugito.lg.jp/

VEGETABLE OIL INK
UD FONT by MORISAWA
ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。
杉戸町ホームページ　メール配信すぎめー　広報スマホ版マチイロ